

す。

園の將來 桃太郎君は私に申す園の將來をお氣遣なさいますな今年を長命なさい身體を害さぬ様に桃太郎も一度は大人になります大人になつた曉には又は保育事業を徹底的安定せしめん事は今日よりお誓ひ申す。此一言には將來の光明を豫期すべく感激いたしました。

今日の保育事業は人に生れた人を人間らしく育てると云ふ大責任ある事業ですから、すでに私等の古びたる意味の保育は一個人の事業としては其資力及學識が支へ得べきでない事は充分自覺して居ます、けれども猶餘命のあらん限りは一の趣味として盡さん事の上については私等如き一定の職業に就かないでもよろしいと云ふ餘暇ある女の仕事として或は是れが好適事業かと思はれます。なせならば趣味として楽しく働いて居るそれが不知不識の間に社會奉仕の一となつて居るのですから最も幸福な仕事と感じます。

右は一の報告に過ぎないのでありますが若し何等かの御參考になりますならば御一讀を願ひます。(記者此の御報告は掲載が遅れました。)

○秋のむ庭

チロ、チロ。チロ、チロ。チロ、チロ。

小さな聲で よい聲で

あちらご こちらご かはりばんこに、

眞晝の庭で 蟲がなく

チラ、チラ。チラ、チラ。チラ、チラ。

眞赤な葉つば、黄色の葉。

紅葉と銀杏と、かはりばんこに

静かな庭に、散つてゐる。

(葛原齒氏作)

葛原齒氏作歌童謡小曲演奏會が去る五日東京高等師範學校講堂で開かれました。此の催しは第二回目でありまして、第一回の時に演奏されなかつたもの、みでしたが、氏の佳作の多いことには敬服にたえません。氏は實に此の方面の最初の開拓者であります。歌は、外山國彦、本居長世、弘田龍太郎、宮城道雄諸氏、いづれも當代、童謡作曲の第一人者の作曲であり、それが、可愛いらしい人々によつて歌はれたのであります。私も招かれて多數の熱心なる小さい聴衆の間に伍するの光榮と幸福を得ました。靜かな、子供らしい韻律の琴と尺八にあはせて、三人の少女によつて合唱された、此の小曲「秋のお庭」も今尙ほ耳に残るもの、一つです。(S. K.)